

美しい 県土づくりNEWS



2008年
9月

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 50号
平成20年9月12日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 「岩手・宮城内陸地震」復興への取り組み
- ◆3 一般国道342号 道路災害関連事業について
- ◆4 『一般国道455号早坂道路改築事業』
『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』
が全建賞を受賞しました！
- ◆5 『河川愛護団体に対する感謝状贈呈式』を開催
- ◆6 親子で見るダム現場！
- ◆8 インターンシップ事業の紹介
- ◆9 下水道出前講座開催！～(財)岩手県下水道公社の取り組み～
- ◆10 いわて花巻空港スカイフェスタ2008のご案内



～創刊50号を迎えました～

2004年8月に産声を上げた手づくり広報誌「美しい県土づくりNEWS」は、おかげさまで創刊50号を迎えました。これからも、当部の事業の状況や県民の皆様との協働の取り組み等を紹介していきます。



(写真)

創刊号から49号までの表紙を並べてみました。これまでの約4年間の歴史が垣間見られます。

「岩手・宮城内陸地震」復興への取組み

県土整備部 河川港湾担当技監 沢口 央



「岩手・宮城内陸地震」から3ヶ月となりました。地震直後から土砂災害危険箇所の緊急点検や災害箇所の調査・復旧工法の検討、被災建築物応急危険度判定や被災宅地判定、重機搬入路の整備や天然ダム等への緊急対策など県内外から様々なご支援をいただきました。紙面をお借りして心から御礼を申し上げます。

未だ避難生活を余儀なくされている方々もおられますが、磐井川上流域の一関市市野々原地区では、今月の1日に簡易水道が開通し、電力の開通、県、国等で施行した迂回路を含めてインフラも着々と復旧しつつあります。

県土整備部では、激甚な被害を受けた国道342号など公共土木施設について、国による災害査定の大半が終了（祭畔大橋は金額が大きいので保留）し、本格的な復旧工事に取り組んでいるところです。限られた時間内で計画を策定し、災害査定や事業採択等に対応するため、6月末からの3ヶ月間で延べ900名程の職員を現地に派遣し応援を行う等、県土整備部が一丸となって取り組んでいるところです。

また、未だ嘗て経験したことの無い地震に見舞われた栗駒山系等の土砂災害については、一刻も早い対策が地域の復興への要となります。このため宮城県と合同で、関係市、大学や研究機関の専門家、国等のオブザーバーによる「岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」を組織し、9月4日の委員会で土砂災害対策の基本方針等について提言、助言をいただいたところです。

今回の地震では、岩手県側で約2,200箇所の崩壊・地すべりが発生し、約2千8百万㎡（東京ドーム22杯分）の不安定土砂が発生し

ました。基本方針では、今後豪雨等による土砂流出が想定されることなどから緊急的に下流の安全性を確保するため、えん堤3基、山腹工1式、谷止工17基等を整備する必要があるとしています。

また下流の警戒避難体制は、既に一関市、奥州市と連携して整備していますが、対策工事の進捗に応じ見直していくこととし、今後とも、豪雨時には土砂災害警戒情報等に基づき早めの避難が行えるよう対応していくこととしています。

さらに今後の土砂生産・移動等のモニタリングを行い、その結果をソフト対策及びハード対策に反映させていくことも盛り込まれています。

裏山の崩壊等の小規模な土砂災害対策は、県農林水産部や市とともに取り組むこととしており、流域にかかる大規模な土砂災害対策は、今回の基本方針を受け、谷止工や山腹工等を林野庁や農林水産部が実施し、えん堤工等を国土交通省や県土整備部が実施することとしており、相互に連携して取り組むこととしています。

県では、県民一丸となった復旧・復興に取り組んでいくことを目指し「がんばろう！岩手」運動を8月4日から展開しているところです。

県土整備部としても、平成20年度から新体制のもと、部の主要課題のひとつとして「災害に強い県土づくり」を掲げており、岩手・宮城内陸地震被災からの一日も早い復旧、復興に向け、全力を傾注して取り組んでまいりますので、今後とも国等関係各位のご支援をよろしくお願いいたします。

一般国道 342 号 道路災害関連事業について

道路建設課
一関総合支局土木部

6月14日8時43分に発生した岩手・宮城内陸地震(M7.2)では、震源地である一関市で震度5強を記録しました。この地震により、一関市巖美町字茂庭沢^{もにわか}地内では、長さ70m、高さ150mの規模で道路を含めて斜面が崩れたほか、路面のひび割れ、段差等が多数発生し、道路が通行不能となりました。

県では、この被災箇所とこれに接続する未被災箇所を含めた約1.2kmのうち、道路の幅が狭く・急カーブ・急勾配となっている区間について、安全で円滑な交通を確保するため2車線道路に改良する道路災害関連事業を実施することとしています。

「道路災害関連事業」とは・・

災害復旧事業は被災した箇所を元通りにすること（原形復旧）を基本としていますが、「道路災害関連事業」は災害復旧事業に併せて、未被災箇所も含めた一連区間について、災害の防止や交通の支障となっている区間を解消するために改良工事を行うものです。

○ 事業概要

一般国道 342 号 道路災害関連事業

事業主体：岩手県

事業箇所：岩手県一関市巖美町字茂庭沢地内

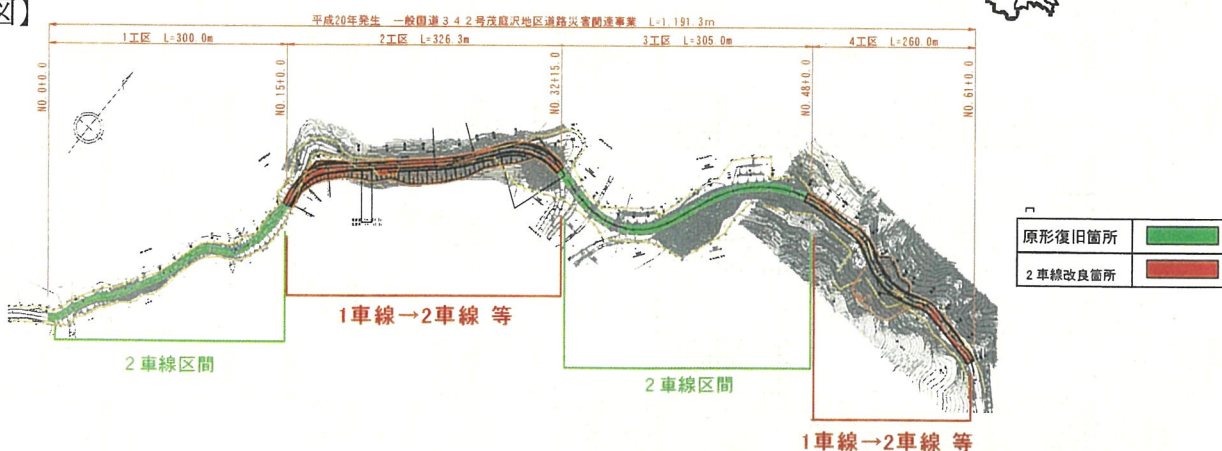
事業延長：L=1,191.3m

事業期間：平成 20 年度～平成 22 年度

事業費：約 3 億 5 千万円



【概略図】



『一般国道455号早坂道路改築事業』

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

が全建賞を受賞しました！！

「全建賞」は、建設技術の活用並びに公共事業の進め方やストックの運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を社団法人全日本建設技術協会（全建賞審査委員会）が毎年審査・選考し、これらを実施した機関を表彰するものです。

平成19年度全建賞は、各地方協会より239事業の推薦があり、全国で7部門59事業が選出されました。岩手県からは、道路部門で『一般国道455号早坂道路改築事業』、都市部門で『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』が選出されました。

『一般国道455号早坂道路改築事業』

＜受賞機関：宮古地方振興局 岩泉土木事務所＞



早坂トンネル（盛岡側坑口）

- ◆事業期間／平成10年度～平成19年度
- ◆事業延長／4,170m（幅員9.5m）
- ◆主要構造物／トンネル1箇所 延長3,115m
橋梁4箇所 全体延長71.4m
- ◆事業費／約9,700百万円

【評価】

トンネルに通常の照明と比べ耐用時間が5倍の無電極放電灯を採用し、維持管理を簡素化。
トンネル坑口にトンネルの湧水を活用したヒートポンプ式消融雪装置を設置し、冬期交通の安全を確保。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.10月号に掲載しています。）

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

＜受賞機関：県南広域振興局 一関総合支局土木部＞



街路完成写真

- ◆事業期間／平成8年度～平成19年度
- ◆事業延長／406m（幅員16m）
車道3m×2、歩道2.5～4.5m（両側）
- ◆事業費／約2,380百万円

【評価】

整備箇所が12世紀の平泉の重要な遺構である東西大路跡と重複することから、「高屋の保存」や「大路後の表現」と連続性を持たせ、世界遺産登録予定地にふさわしい整然とした都市の景観を創出。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.9月号に掲載しています。）

住民協働

河川愛護団体

『雪谷川を守る会』に対する感謝状贈呈式を開催

二戸地方振興局土木部

平成20年9月4日(木)、二戸地方振興局において、地元の河川愛護団体「雪谷川を守る会」に感謝状を送りました。「雪谷川を守る会」は平成14年4月に設立以来、「桜の木の植樹」、「草刈及び河川清掃(雪谷川クリーンアップ作戦)」、「川とふれあう魚釣り大会」、「夢灯り in 雪谷川」、「結いのみちづくり」等の活動を通して、雪谷川の環境の保全や維持等の活動を行い、住みよく安全で美しい景観の街づくりを推進してきました。

活動には雪谷川流域の27行政区の住民や商工関係者など地域の方々1,850人余が地域の美化と保全のため、愛情と責任を持ってボランティア活動に取り組んでおり、より良い地域づくりの模範となっています。



親子で見るダム現場！

～築川ダム学習会&付替え道路見学会を開催～

盛岡地方振興局土木部 築川ダム建設事務所

8月7日（木）8日（金）に盛岡市沢田地区の子ども会のみなさんを対象に『築川ダム学習会&付替え道路見学会』を開催しました。

「盛岡市民に『築川ダムと築川道路』を知ってもらおう！」と事務所がある沢田地区の子ども会をお誘いしたところ、快く参加していただきました。

30℃を越える炎天下の中でしたが、2日間にわたり、幼稚園児から小学生、保護者の方まで延べ42名に築川ダムの学習と付替え道路の見学をしていただきました。

当日配布した子ども用パンフレット、ダム模型の実験、記念撮影用のカード、おみやげの橋のペーパークラフトはすべてが職員の手づくりです。

「ダムや道路工事のことは知っていたけど、見学できるとは思わなかった」という方も多く、今後も『見学会』を続けていきますので次頁のご案内を参考にお申し込み下さい。



ダム事務所内での説明



ダム模型での実験



トンネル内の散策



橋の上での記念撮影

築川ダム学習会&付替え道路見学会のご案内

築川ダム建設事務所では、ダムの学習会と付替え道路の見学会を随時実施しています。

実施時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後4時まで
概ね2時間程度

※ 土日・祝日を希望される場合は要相談



場 所 築川ダム建設事務所内・付替え道路現場内

募集人数 1回あたり20名程度まで

内 容 一般的なモデルコースとしての内容は下記のとおりです。

- | | |
|-------------|---|
| 9:00 | 築川ダム建設事務所集合 |
| 9:10～9:40 | 築川ダムのおはなし(約20～30分)
ダムと水のお話、築川ダムの概要説明 |
| 9:40～9:50 | 付替え道路現場移動 |
| 10:00～10:30 | 道路の散策(トンネルから大きな橋まで歩いてみよう)
今だから歩ける!トンネルの中、橋の真ん中
橋の上から今の道路を見下ろしてみよう |
| 10:30～10:40 | 道路のおはなし(記念撮影ができます)
付替え道路の概要説明 |
| 10:40～11:00 | 事務所へ移動 解散 |

※ 内容は、要望に応じて変更可能です。お気軽にご相談ください。

その他 料金はかかりませんが、交通費は自己負担となります。

希望日の1週間前までにお申込みください。(事務所見学のみはいつでも受付ます)

詳しい申込みや内容については、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒020-0817 岩手県盛岡市東中野字沢田 94-1

岩手県盛岡地方振興局土木部築川ダム建設事務所 tel 019-652-8821

広報担当 馬場・高橋・渡辺・佐々木

インターンシップ事業の紹介

県土整備企画室

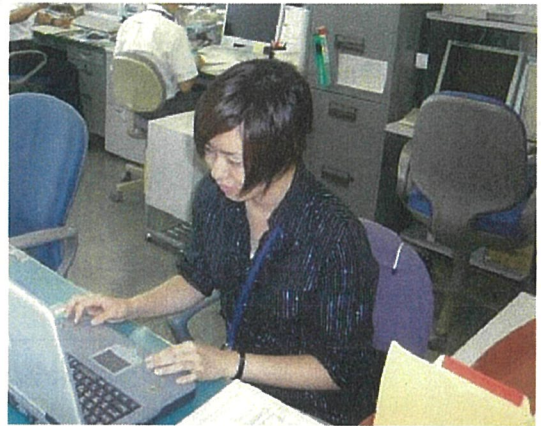
県では、大学生と高校生を対象としたインターンシップ（就業体験学習講座）事業を実施しており、平成12年度から学生の受け入れを行なっています。

この度、8月25日（月）～29日（金）の期間、県土整備部では岩手県立大学から2名を受入れましたので紹介します。

県土整備企画室で就業体験

◇内容

- ・業務内容、方針等の説明
- ・広報誌等の作成補助
- ・用地研修資料作成補助
- ・予算経理事務補助
- ・河川事業現場見学・・・etc



県土整備企画室にて就業体験をした渡辺さん



建設技術振興課にて就業体験をした古里さん

建設技術振興課・都市計画課での就業体験

◇内容

- ・業務内容、方針等の説明
- ・担当者会議資料作成補助
- ・行政文書作成補助
- ・アンケート集計、分析
- ・河川事業現場見学・・・etc

研修を終えてのコメント

県立大学盛岡短期大学部

渡辺 志穂さん（写真左）

研修を通して、県庁のイメージが変わりました。仕事の中の雰囲気なども明るく、職員同士のつながりのある部署でした。

ここで就業体験ができて良かったと思います。



県立大学盛岡短期大学部

古里 真衣さん（写真右）

県庁は堅いイメージでしたが、担当の方が優しく丁寧に接してくれました。主に事務の仕事を体験しましたが、他の仕事にも役立つ良い体験が出来たと思います。

下水道出前講座開催！～(財)岩手県下水道公社の取組み～

下水環境課

「下水道ってなに?」、「トイレの水はどこに行くの?」、「下水をどうやってきれいにしているの?」、などなど下水道について皆さんはどれだけ知ってらっしゃいますか?

下水道は、日常生活で欠くことのできない存在でありながら、そのしくみや役割をなかなか知る機会がありませんでした。

そこで、財団法人岩手県下水道公社は、下水道の啓蒙普及を目的として「出前講座」事業を平成19年度からスタートさせました。

このたび、一関市立山目小学校からの依頼で、4年生のみんなに講座を開きましたので、その時の様子をご紹介します。

【日時】 平成20年7月22日(火) 2時限目～4時限目

【場所】 一関市立山目小学校視聴覚室

【対象】 4年生(3クラス計97名 ※1クラス毎に1時限)

【講座の内容】

下水道の歴史や仕組みを説明し、下水中の微生物の映像を見たり、実際の下水の香りを体感したりしました。

【講座の様子】

微生物が下水中のよごれを食べるところの映像を見たときには、「お～!」とか「きもい～」といった声が上がりました。また、処理前の下水のにおいをかいだ時には「くっせ～! きゃあ～」と悲鳴が上がりましたが、処理した後の下水をかいだ後には「くさくない! へえ～すごい!」とびっくりしていました。質問の時間では、「きれいになった水は飲めるのですか?」、「微生物は何種類いるのですか?」というような発言がたくさん出され、生徒の皆さんに下水道について少しでも興味を持ってもらえたと感じることが出来ました。



★出前講座は随時受け付けておりますので、下記までお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】 岩手県県土整備部下水環境課

TEL: 019-629-5896 (担当: 長沼)

(財)岩手県下水道公社企画管理課

TEL: 019-638-2623 (担当: 佐々木)



いわて花巻空港 → カイフェスタ 2008



平成20年9月23日(火) 秋分の日

時間：午前10時から午後3時30分まで(小雨決行)

場所：いわて花巻空港内(入場無料)

(主なイベント) ※気象条件などによって中止するイベントがあります。

プロの技に感動する

アクロバット飛行、ヘリ救助デモンストレーションや
大型化学消防車の放水デモンストレーション

空港を体験する

遊覧飛行(有料)やバスで滑走路走行(有料)

見て楽しむ

「鹿踊り」や「よさこいソーラン」などのステージイベント

プレゼント

クイズ回答者(先着3,000名様)に記念品プレゼント

さらに正解者の中から宿泊付き国内航空券ペア1組(抽選後日)が当たる!

この他にも大型化学消防車との綱引きなどイベント盛りだくさん!

空港駐車場は利用できません。誘導員の指示に従って、臨時駐車場に駐車願います。



【お問い合わせ先】

いわて花巻空港空の日記念事業運営委員会事務局(花巻空港事務所)

Tel; 0198-26-2016 Mail; CF0003@pref.iwate.jp

(いわて花巻空港空の日記念事業運営委員会、岩手県空港利用促進協議会、花巻空港整備・利用促進協議会、(株)日本航空インターナショナル盛岡支店)

花巻空港

検索

